



第 68 回日本透析医学会学術集会・総会が

2023 年 6 月 16 日(金)～18 日(日)に

神戸コンベンションセンターにて開催予定です。

当院からは看護部 市原 恵美子 チーフ  
臨床工学科 二神 徳明 主任  
坂口 博紀 技士が

学術発表されますので、ご紹介します。

# 第68回日本透析医学会学術集会・総会

The 68th Annual Meeting of  
the Japanese Society for  
Dialysis Therapy

## 知行合一

技術の実装と知識の実践

会長 | 友 雅司 大分大学医学部附属  
臨床医工学センター 診療教授

事務局長 | 松山 和弘 医療法人誠医会  
松山医院大分腎臓内科 院長

2023年6月16日(金)~18日(日)

神戸コンベンションセンター

神戸ポートピアホテル・神戸国際会議場・神戸国際展示場

透析フットケアチームの取り組み  
～高齢透析患者にみえる課題～

(医) 康仁会 西の京病院 透析センター<sup>1</sup> プラザ透析センター<sup>2</sup> 臨床工学科<sup>3</sup> 内科<sup>4</sup>  
○市原 恵美子<sup>1</sup>、中川 実保<sup>1</sup>、油谷 知輝<sup>1</sup>、山岡 みゆき<sup>1</sup>、西 秀人<sup>2</sup>、  
川西 大<sup>3</sup>、二神 徳明<sup>3</sup>、野口 幸<sup>3</sup>、武井 誠<sup>4</sup>、吉岡 伸夫<sup>4</sup>

当院は、奈良県北部に位置する地域密着型病院で透析4センター併せて162床を有している。患者が透析4センターを移動するとき、フットケアの方法、手技、情報共有が統一されておらず、下肢重症化予防のための継続看護が不足していた。そのため2021年10月に、看護師8名と臨床工学技士3名の11名からなる透析フットケアチーム（以下チーム）を立ち上げた。

看護師は、3名のフットケア指導士を含む8名全員が糖尿病重症化予防研修を修了しており、病棟スタッフとも連携を取りながら切れ目のないケア・治療を継続しており、リハビリへの介入や循環器内科・整形外科との窓口的役割を担っている。

また臨床工学技士3名はSPPプロトコルに基づきレオカーナ・LDL吸着療法を行い、透析フットケアフローシートを用いて看護師と協働しながら創傷管理を実施している。

透析患者の合併症の早期発見・早期治療やQOL向上を目的としたチームの活動内容と多職種との連携、今後の課題について報告する。

#### CLTI を発症した透析患者に対しレオカーナを導入した 4 症例

(医)康仁会 西の京病院 診療支援部 臨床工学科<sup>1)</sup> 透析センター<sup>2)</sup>  
二神徳明<sup>1)</sup> 川西 大<sup>1)</sup> 野口 幸<sup>1)</sup> 山岡みゆき<sup>2)</sup> 吉岡伸夫<sup>2)</sup>

【緒言】 CLTI を発症した透析患者に対してレオカーナを導入し、その効果を Post-EVT 患者 2 名と non-EVT 患者 2 名で評価した。

【症例】 症例 1 は、80 歳代女性。左第 3 趾に黒色壊死と第 2・4 趾の潰瘍形成が出現したので EVT を行い、レオカーナを導入。第 3 趾は切断となったが、第 2・4 趾の潰瘍は消失、経過良好である。症例 2 は 50 歳代男性。右第 1 趾潰瘍のため EVT 後にレオカーナを導入。SPP は改善し、足趾の潰瘍も消失した。症例 3 は、80 歳代男性。左第 1・2 足趾の黒色壊死と 2・4 趾に潰瘍が出現、EVT を拒否したのでレオカーナを導入。潰瘍は改善傾向であったが、SPP は低下し潰瘍と壊死の増悪により死亡。症例 4 は、80 歳代女性。両足第 2 足趾に潰瘍が出現。EVT 適応困難と判断し、レオカーナを導入。SPP の上昇は認められず潰瘍は悪化し下肢切断となった。

【結語】 透析患者の CLTI に対する治療は、血行再建術後に補完療法としてレオカーナが有効であることが示唆された。

## On line HDF (OHDF) にリクセル併用は有効か？

(医)康仁会 西の京病院 診療支援部 臨床工学科<sup>1)</sup>透析センター<sup>2)</sup>  
坂口博紀<sup>1)</sup> 倉本彪馬<sup>1)</sup> 里中瑠美<sup>1)</sup> 二神徳明<sup>1)</sup> 野口 幸<sup>1)</sup> 山岡みゆき<sup>2)</sup> 樋口侑子<sup>2)</sup>  
樋口 敦<sup>2)</sup> 吉岡伸夫<sup>2)</sup>

**【緒言】** リクセルは、透析アミロイド症患者の $\beta_2$ -Mgの除去に用いる。今回、OHDF 施行中の $\beta_2$ -Mg 高値の患者にリクセル併用は有効かを検討した。

**【方法】** 前希釈 OHDF 患者 5 名を対象とし、OHDF と OHDF+リクセル (OHDF-R) における中分子量物質と各溶質の除去効率を検討した。また、リクセルをヘモダイアフィルターの前装着と後装着の違いによる除去効率も検討した。

**【結果】** OHDF と OHDF-R の比較では、OHDF-R で $\beta_2$ -Mg の除去率が高かった ( $P<0.01$ )。さらに、リクセル前装着に比して後装着で $\beta_2$ -Mg のクリアスペースが有意に優れていた ( $P<0.01$ )。小分子量物質は有意な差を認めなかった。

**【結語】** OHDF にリクセル併用は、 $\beta_2$ -Mg の除去に有効であった。また、リクセルはヘモダイアフィルター後に装着することが望ましいと考えられた。